



パワフルかつエキサイティングな演奏を聴かせてくれた LAU の3人

4

生徒を熱くした！スコットランド発「LAU」の音楽

国際基督教大学高等学校 スクール・コンサート
 ■12月10日 国際基督教大学高等学校(東京都) まきひらゆか

ス コットランド発のトラッド・バンド、LAU(ラウ)

によるスクール・コンサートが、東京の国際基督教大学高等学校で行われた。LAUはスコットランドの伝統音楽をベースにオリジナル曲を演奏する、フィドル、ギター、アコーディオンのトリオで、そのエネルギーが素晴らしい。スコットランドの伝統音楽をベースにオリジナル曲を演奏する、フィドル、ギター、アコーディオンのトリオで、そのエネルギーが素晴らしい。

スコットランド発のトラッド・バンド、LAU(ラウ)によるスクール・コンサートが、東京の国際基督教大学高等学校で行われた。LAUはスコットランドの伝統音楽をベースにオリジナル曲を演奏する、フィドル、ギター、アコーディオンのトリオで、そのエネルギーが素晴らしい。

スコットランド発のトラッド・バンド、LAU(ラウ)によるスクール・コンサートが、東京の国際基督教大学高等学校で行われた。LAUはスコットランドの伝統音楽をベースにオリジナル曲を演奏する、フィドル、ギター、アコーディオンのトリオで、そのエネルギーが素晴らしい。

楽を知ってほしいと、LAUに出演を交渉し、実現したのだ。

定期試験最終日の放課後に行われることもあって、生徒の意志に任せた自由参加だったが、会場には200人以上の生徒が集まり、立ち見も出るほどの盛況ぶりだった。通訳ならびに司会進行役である、音楽評論家の五十嵐正氏によるスコットランドについての簡単な説明のち、LAUが紹介されて会場に入ってくると、生徒たちから大きな歓声があがった。音楽が始まると会場は静まり返り、生徒たちは熱心にLAUの演奏に入り、音楽に聴き入っていた。

中西教諭に教えられ、既にLAUを知っていたという生徒の1人は、「好きな曲が演奏されてうれしかった」と話してくれた。メンバーからも「楽しかったよ。みんな一生懸命聴いてくれて、と



司会進行を務めた音楽評論家の五十嵐正氏

てもうれしかった」という言葉が返ってきて、双方が良い関係のコンサートが行われたことがわかった。また、演奏の途中に設けられた質問コーナーや、コンサート終了後には、生徒たちのほとんどが通訳を介さずにメンバーたちと交流しており、その楽しそうな様子は、このコンサートが大成功だったことを物語っていた。

今後、このようなコンサートがもっと大きく広がっていくことを期待したい。



1曲終わるごとに、大きな拍手に沸く会場。音楽に合わせて思わずノッてしまう生徒も続出！